

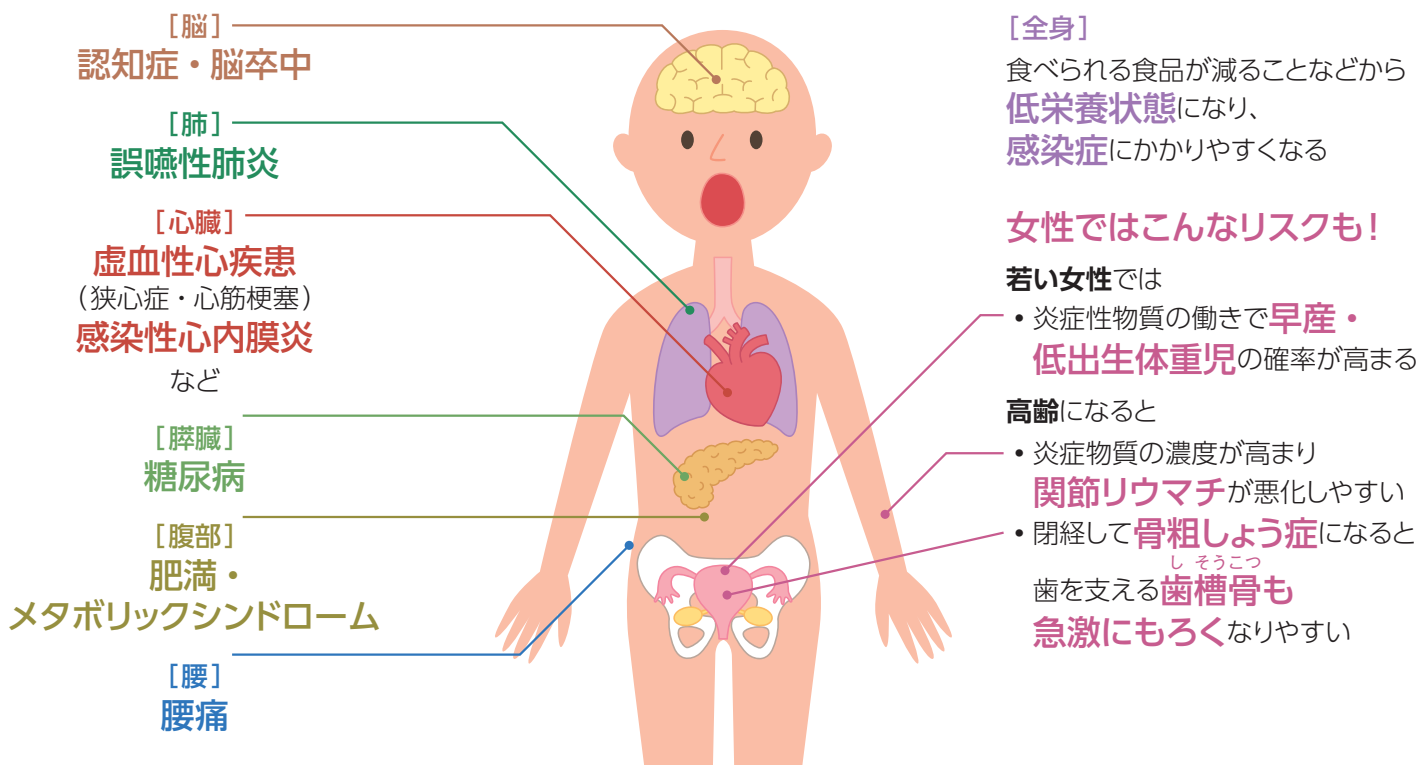
歯周病は成人の約8割がかかっており、20代から始まって気づくのは中高年(40～50代)になってから。silent disease(静かな殺し屋)と言われ、歯周病菌は血液を通過して全身に広がり、様々な影響を起こします。



生活習慣病につながる

- ◆歯周病菌が血管を傷つけ、動脈硬化がすすんで脳梗塞や心筋梗塞の原因に
- ◆歯周病菌が肺に入ると誤嚥性肺炎に。高齢者に特に多い
- ◆歯周病菌は組織を破壊し、たんぱく質でインスリンの働きを妨げ、口の中の抵抗力が弱まり、糖尿病が悪化

お口の健康と関係の深い病気



女性はホルモンによって影響を受けやすい

- ◆思春期は月経のたびに歯ぐきが腫れやすく、試験などでストレスがかかると免疫低下に
- ◆妊娠中は女性ホルモンが急増して歯周病になりやすく、かかった場合は早期低体重児出産のリスクが7倍
- ◆更年期はホルモンバランスが崩れる影響で唾液の分泌が減り、歯周病が進みやすく**歯槽骨**(歯を支える土台)がもろくなりやすい。

